

アンケート用紙1 千葉県・令和元年度及び令和2年度当初 市町村における認知症施策に関するアンケート結果

※ 設問中に特に指定がない場合、「令和元年度の実績(令和2年3月31日現在)」の状況になります。

【認知症対策の施策への反映について】

問1. 認知症対策に取り組む保健、医療、介護、福祉の関係者が認知症地域支援体制づくりに一体的に取り組むための組織を設置していますか。(個別事例の検討会や講演会等の事業を実施するための会議や、初期集中支援チーム設置のための会議を除く。)

1. 設置している

18 市町村

(増減なし)

33.3%

2. 設置していない

36 市町村

(増減なし)

66.7%

1. とお答えの場合、御記入ください。設置要綱等があれば添付してください。

開催回数 : 平均2.9回/年	構成メンバー(職種) : 医師、学識経験者、認知症コーディネーター、認知症地域支援推進員、民生委員 等
構成員数 : 平均14.6人	検討内容・実施事項等※ : 本人発信支援等の検討、認知症ケアパスについて、医療と介護の連携、認知症初期集中チームについて 等

※できるだけ具体的に御記入ください。

問2. 貴市町村内の認知症高齢者数を把握していますか。

1. 調査で把握

1 市町村 (5市町村減)

1.9%

2. 推計で把握

19 市町村 (5市町村増)

35.2%

3. その他の方法で把握

17 市町村 (増減なし)

31.5%

4. 把握していない

19 市町村 (2市町村増)

35.2%

※何らかの方法で把握している市町村数

35 市町村 64.8% (2市町村減)

※調査方法で主なものは、介護保険認定情報。

【正しい理解の普及、啓発について】

問3. 認知症サポーター養成に関して具体的な到達目標(養成数、対象など)を明確にしていますか。

1. している

34 市町村 63.0% (6市町村増)

2. していない

20 市町村 37.0% (6市町村減)

問4. 貴市町村職員対象の認知症サポーター養成講座を実施していますか。

1. 実施している

36 市町村 66.7% (1市町村減)

2. R2年度以降に実施予定

2 市町村 3.7% (増減なし)

3. 検討中

7 市町村 13.0% (1市町村減)

4. 実施していない

9 市町村 16.7% (2市町村減)

アンケート用紙1 千葉県・令和元年度及び令和2年度当初 市町村における認知症施策に関するアンケート結果

問5. 問4. で1. と回答した場合、講座の受講対象者をお答えください。(複数回答可)

- | | |
|---|---|
| 1. 全職員 | 2. 新規採用職員 |
| <input type="checkbox"/> 11 市町村 20.4% (4市町村減) | <input type="checkbox"/> 17 市町村 31.5% (増減なし) |
| 3. 認知症担当課職員 | 4. 希望者 |
| <input type="checkbox"/> 5 市町村 9.3% (1市町村増) | <input type="checkbox"/> 12 市町村 22.2% (1市町村減) |
| 5. その他(福祉関連部署、新規派遣職員 各課から1名以上等) | |
| <input type="checkbox"/> 4 市町村 7.4% (1市町村増) | |

問6. 貴市町村において、職域別の認知症サポーター養成講座を実施していますか。(複数回答可)

- | | |
|---|---|
| 1. 警察職員 | 2. 教員 |
| <input type="checkbox"/> 5 市町村 9.3% (3市町村減) | <input type="checkbox"/> 3 市町村 5.6% (2市町村減) |
| 3. 金融機関 | 4. 公共交通機関 |
| <input type="checkbox"/> 19 市町村 35.2% (3市町村増) | <input type="checkbox"/> 3 市町村 5.6% (1市町村増) |
| 5. 小売業 | 6. マンション管理人 |
| <input type="checkbox"/> 16 市町村 29.6% (1市町村増) | <input type="checkbox"/> 3 市町村 5.6% (3市町村増) |
| 7. その他 | |
| <input type="checkbox"/> 23 市町村 42.6% (3市町村増) | |
| 郵便局、介護事業所、商工会、等 | |
| 8. 住民対象のみ実施 | 9. 職域別の講座を実施していない |
| <input type="checkbox"/> 14 市町村 25.9% (増減なし) | <input type="checkbox"/> 14 市町村 25.9% (1市町村増) |

問7. 貴市町村において、学生を対象とした認知症サポーター養成講座を実施していますか。

実施している場合は、何校を対象に実施したのか、()内に記載してください。

※複数校の生徒を1校に集めて開催した場合は、「1校」ではなく、参加した学校数を記載してください。

- | | |
|---|---|
| 1. 小学生 | 2. 中学生 |
| <input type="checkbox"/> 39 市町村 72.2% (3市町村減) | <input type="checkbox"/> 25 市町村 46.3% (1市町村減) |
| 3. 高校生 | 4. 大学生 |
| <input type="checkbox"/> 20 市町村 37.0% (増減なし) | <input type="checkbox"/> 11 市町村 20.4% (3市町村増) |
| 5. 専門学生 | 6. 学生を対象とした講座を実施していない。 |
| <input type="checkbox"/> 6 市町村 11.1% (3市町村増) | <input type="checkbox"/> 8 市町村 14.8% (1市町村増) |

アンケート用紙1 千葉県・令和元年度及び令和2年度当初 市町村における認知症施策に関するアンケート結果

問8. 認知症サポーターがボランティア等として活動するために、養成講座修了者に対し、フォローアップ講座の開催などの支援を実施していますか。

- | | |
|---|---|
| 1. 実施している | 2. R2年度以降に実施予定 |
| <input type="text" value="24"/> 市町村 44.4% (2市町村増) | <input type="text" value="0"/> 市町村 0.0% (2市町村減) |
| 3. 検討中 | 4. ない |
| <input type="text" value="15"/> 市町村 27.8% (2市町村増) | <input type="text" value="15"/> 市町村 27.8% (2市町村減) |

具体的内容

●認知症サポーターステップアップ講座の開催●外部講師を招き、認知症の方やその家族に対する支援のあり方について講座を開催。希望者には認知症対応施設で実習を行う●認知症の方への傾聴やコミュニケーション、認知症の理解と地域でできること、認知症の方の支援の手助けとなる制度の理解●活動希望の認知症サポーター(オレンジ声かけ隊、オレンジ協力員)に対し、研修会を開催。●基礎編、応用編、実務編の3部構成で企画、基礎、応用編2回を実施●オレリン会ミーティング●千葉県認知症サポーターフォローアップ講座カリキュラムによる講座の実施●認知症グループホームにて実習。施設長からの講義。等

問9. 問8. で1. とお答えの場合、認知症サポーターフォローアップ講座等の実施後、名簿を作成していますか。

- | | |
|---|---|
| 1. 作成している | 2. R2年度以降に作成予定 |
| <input type="text" value="21"/> 市町村 38.9% (3市町村増) | <input type="text" value="1"/> 市町村 1.9% (1市町村増) |
| 3. 検討中 | 4. ない |
| <input type="text" value="2"/> 市町村 3.7% (2市町村増) | <input type="text" value="4"/> 市町村 7.4% (3市町村減) |

問10. 「チームオレンジ」の取組み以外で、認知症サポーターとの連携事業がありますか。(例:認知症カフェ等でのボランティア、SOSネットワーク等)

- | | |
|---|---|
| 1. ある | 2. R2年度以降に実施予定 |
| <input type="text" value="24"/> 市町村 44.4% (1市町村減) | <input type="text" value="0"/> 市町村 0.0% (2市町村減) |
| 3. 検討中 | 4. ない |
| <input type="text" value="4"/> 市町村 7.4% (6市町村減) | <input type="text" value="26"/> 市町村 48.1% (8市町村増) |

事業の概要

●認知症カフェのボランティア・徘徊高齢者保護模擬訓練への参加●(1)認知症サポーターによる声かけ人材の育成(オレンジ声かけ隊)(2)認知症サポーターによる専門職との普及啓発、認知症カフェの運営、見守りパトウォーク等実践活動(オレンジ協力員)●認知症のかたとの散歩活動、アルツハイマーデーにおける啓発活動参加●市民大学において、認知症サポーターが自身の活動について受講生に伝えた。等

サポーターへの連絡手段

●主催団体より直接認知症サポーターへ連絡してもらう●(1)市より研修会の案内を郵送、メールにて配信(2)事業委託先である社会福祉協議会で名簿を作成。地域包括支援センターへ名簿の情報提供をおこなう●会の終わりに次回開催の連絡事項を伝える。●名簿で管理し電話にて連絡している。等

問11. 貴市町村では、認知症サポーターの活動に対し、何らかの支援をしていますか。

- | | |
|---|---|
| 1. 実施している | 2. R2年度以降に実施予定 |
| <input type="text" value="12"/> 市町村 22.2% (5市町村増) | <input type="text" value="0"/> 市町村 0.0% (1市町村減) |
| 3. 検討中 | 4. 実施していない |
| <input type="text" value="7"/> 市町村 13.0% (1市町村増) | <input type="text" value="35"/> 市町村 64.8% (5市町村減) |

具体的内容

●一部希望者に対し、年1回の研修会を開催している●認知症カフェの自主運営に対する補助金●交流会、研修会の開催●定期的集える場を設置●認知症カフェの参加、介護予防事業の実施支援、実際の関わり方、相談の支援 等

アンケート用紙1 千葉県・令和元年度及び令和2年度当初 市町村における認知症施策に関するアンケート結果

問12. 貴市町村独自でキャラバン・メイトスキルアップのための研修等(交流会、グループワーク等)を実施していますか。(県が実施するキャラバン・メイトスキルアップ研修に参加した場合を除く)

1. 実施している

16 市町村 29.6% (4市町村増)

2. R2年度以降に実施予定

0 市町村 0.0% (増減なし)

3. 検討中

3 市町村 5.6% (1市町村減)

4. 実施していない

35 市町村 64.8% (3市町村減)

具体的内容

●年2回程度、市の認知症施策を考える会を実施。認知症サポーター養成に向けた取り組みの検討に加え、認知症推進大綱の理解等、スキルアップになる勉強会も取り入れている。●小学生・中学生を対象としたプログラム内容について検討。新しいメイトが安心して講座を開催できるよう検討。●研修は2部構成としており、1部では認知症の専門医からの認知症への理解を深めるための講座を行い、2部ではキャラバン・メイト同士のグループワークによる顔の見える関係づくりを行っている。●チームオレンジの基盤作りとして市内の認知症サポーターやキャラバン・メイトの交流会、情報交換を行った。等

問13. 認知症の普及啓発を目的として貴市町村で街頭パレード(メモリーウォーク等)の実施がありますか。(主催・共催・後援、いずれでも)(複数回答可)

1. メモリーウォークを実施

4 市町村 7.4% (2市町村減)

2. RUN伴を実施

21 市町村 38.9% (4市町村増)

3. その他

5 市町村 9.3% (3市町村増)

4. 実施していない

30 市町村 55.6% (1市町村減)

〔 シンポジウム、認知症あんしんフェスタ 等 〕

問14(1). 世界アルツハイマーデー(毎年9/21)や月間(毎年9月)の機会を捉えて認知症に関する普及・啓発イベントを実施していますか。

1. 実施している

13 市町村 24.1%

2. R2年度以降に実施予定

2 市町村 3.7%

3. 検討中

3 市町村 5.6%

4. 実施していない

36 市町村 66.7%

具体的内容

●市民向けの講演会、リーフレットの配布 ●市役所連絡通路にて、認知症簡易チェックやリーフレットの配布(5日間)、市内広報紙への掲載、専門職・関係者向け研修会 ●ショッピングモールのロビーにて認知症チェック、認知症相談・カフェ、情報コーナー等による啓発 ●図書館と連携し、認知症コーナーを開設し関連書籍やパネルの展示、パンフレットの配布 等

問14(2). 問14(1). で1. 2. 3. とお答えの場合、普及・啓発イベントで認知症の人本人からの発信の機会がありますか。

1. 機会あり

5 市町村 9.3%

2. 機会なし

15 市町村 27.8%

アンケート用紙1 千葉県・令和元年度及び令和2年度当初 市町村における認知症施策に関するアンケート結果

【予防について】

問15. 認知症予防に向けた住民向け健康講座などの事業を行っていますか。

- | | |
|-----------------------------|----------------------------|
| 1. 行っている | 2. 行っていない |
| 43 市町村 79.6% (2市町村減) | 8 市町村 14.8% (1市町村増) |
| 3. 令和2年度以降に実施予定 | |
| 3 市町村 5.6% (1市町村増) | |

具体的内容

●地域包括支援センター主催で認知症予防をテーマにした家族介護教室を開催。●1企画につき3回コース。専門職等による体操や講演。認知症予防活動を継続するための仲間づくり。●「あたますっきり若返り教室」:公文の教材を利用した簡単な読み書き・計算のプログラム●講座開催「脳の活性化プログラム」ウォーキング、コグニサイズ、ワーク、など取り入れ生活習慣見直し●シナプソロジー●ちよ筋教室(自宅で出来る運動に加え、簡単な計算などを実施)●ファイブ・コグ検査●認知症疾患医療センター医師による、認知症とその予防についての研修会を開催した。等

問16. 認知症予防について、県に望む支援はありますか。

- | | |
|------------------------------|-----------------------------|
| 1. 最新の情報提供 | 2. 指導者の養成 |
| 48 市町村 88.9% (11市町村増) | 15 市町村 27.8% (4市町村減) |
| 3. 講師の派遣 | 4. その他 |
| 16 市町村 29.6% (7市町村減) | 4 市町村 7.4% (2市町村増) |

4. その他とお答えの場合、具体的内容

●認知症予防に効果のある好事例やエビデンス分析の情報提供●千葉県が主体となって、県内で利用できる劇などの動画配布、動画による認知症サポーター養成講座を開催できるとさらに、気軽に実施できると思います。オレンジリングを貰えるのは、キャラバン・メイトが介入した場合のみなので興味がある人が見る分には良い普及啓発になるかと思ます。等

【他機関との連携について】

問17(1). 貴市町村において(認知症高齢者)徘徊見守りSOSネットワークができていますか。(令和2年4月1日時点)(複数回答可)

- | | |
|-----------------------------|--|
| 1. できている | 2. SOSネットワーク以外のネットワークの中で、(認知症高齢者)徘徊の見守りもしている |
| 27 市町村 50.0% (4市町村増) | 28 市町村 51.9% (9市町村増) |
| 3. 検討中 | 4. できていない |
| 1 市町村 1.9% (3市町村減) | 2 市町村 3.7% (11市町村減) |

構成員

市町村、地域包括支援センター、警察、消防、保健所、医師会、社会福祉協議会、民生委員、介護事業所、新聞店、生協、金融機関、薬局、コンビニ、タクシー、バス、ヤクルト販売、ライフライン事業者、大学、シルバー人材 等

2. と回答の場合、どのようなネットワークか

●活動登録した認知症サポーター(オレンジ声かけ隊、オレンジ協力員)による見守り活動●見守りネットワーク事業の中で、認知症による徘徊の見守りも行っている。●見守り協力事業者(協定を締結した者)が日常業務の中で「高齢者の異変」を感じた際に地域包括支援センターに連絡する。等

アンケート用紙1 千葉県・令和元年度及び令和2年度当初 市町村における認知症施策に関するアンケート結果

問17(2). 問17(1). で回答した以外に、情報機器の活用など、(認知症高齢者)徘徊の見守りを実施している事業がありますか。

- | | |
|--|--|
| <p>1. 有</p> <p>45 市町村 83.3% (1市町村増)</p> <p>1. 防災無線</p> <p>36 市町村 66.7% (2市町村増)</p> <p>3. GPSの貸出、助成</p> <p>19 市町村 35.2% (7市町村増)</p> <p>5. キーホルダー</p> <p>2 市町村 3.7% (増減なし)</p> | <p>2. 無</p> <p>9 市町村 16.7% (1市町村減)</p> <p>2. 一斉メール送信</p> <p>27 市町村 50.0% (2市町村増)</p> <p>4. ステッカー、シール、QRコード</p> <p>15 市町村 27.8%</p> <p>6. その他</p> <p>6 市町村 11.1% (1市町村増)</p> <p style="text-align: center;">〔 ●アプリ配信●市HP, Twitter 等 〕</p> |
|--|--|

問18(1). 県からの行方不明高齢者の検索依頼があった場合、どのような対応をしていますか。(複数回答可)

- | | |
|---|---|
| <p>1. 県からの依頼範囲へFAX等で連絡</p> <p>10 市町村 18.5% (1市町村減)</p> <p>3. その他</p> <p>13 市町村 24.1% (1市町村増)</p> <p>〔 ●関係各課へ情報提供●近隣市の事例の場合、警察等で保護された方がいないか注視している。 〕</p> | <p>2. 認知症担当課のみで供覧</p> <p>27 市町村 50.0% (1市町村減)</p> <p>4. 特に対応していない</p> <p>5 市町村 9.3% (1市町村増)</p> |
|---|---|

問18(2). 問18(1)で1. 3とお答えの場合、対応するまでの時間の定めはありますか。

- | | |
|--|---|
| <p>1. 速やかに</p> <p>10 市町村 18.5%</p> <p>3. 当日中</p> <p>1 市町村 1.9%</p> | <p>2. 数時間程度</p> <p>0 市町村 0.0%</p> <p>4. 定めはない</p> <p>16 市町村 29.6%</p> |
|--|---|

問19. 貴市町村において徘徊模擬訓練を実施していますか。

- | | |
|---|---|
| <p>1. ある</p> <p>3 市町村 5.6% (4市町村減)</p> <p>3. 検討中</p> <p>3 市町村 5.6% (増減なし)</p> | <p>2. 実施主体は市町村以外で実施</p> <p>5 市町村 9.3% (1市町村増)</p> <p style="text-align: center;">〔 ●地域包括支援センター／自治会●社会福祉協議会 等 〕</p> <p>4. ない</p> <p>43 市町村 79.6% (3市町村増)</p> |
|---|---|

アンケート用紙1 千葉県・令和元年度及び令和2年度当初 市町村における認知症施策に関するアンケート結果

問20. 個別事例の相談又は、認知症の対応(地域包括支援センターの活動を含む)について連携をしている機関はありますか。(複数回答可)

1. 健康福祉センター	2. 中核地域生活支援センター
<input type="checkbox"/> 18 市町村 33.3% (1市町村増)	<input type="checkbox"/> 25 市町村 46.3% (2市町村増)
3. 地域振興事務所	4. 警察
<input type="checkbox"/> 0 市町村 0.0% (増減なし)	<input type="checkbox"/> 43 市町村 79.6% (9市町村増)
5. その他	6. 連携したことがない
<input type="checkbox"/> 15 市町村 27.8% (8市町村増)	<input type="checkbox"/> 2 市町村 3.7% (4市町村減)
<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 居宅介護支援事業所、医療機関、医師会、保健所、認知症疾患医療センター、消費生活センター、地区社協 等 </div>	

【早期診断と医療・介護が連携したサービスの提供について】

問21. 初期集中支援チーム以外で、認知症の早期発見・診断に対する支援を行っていますか。(複数回答可)

1. 一般健診にもの忘れに関する項目を追加	2. チェックリストの配布
<input type="checkbox"/> 1 市町村 1.9% (増減なし)	<input type="checkbox"/> 13 市町村 24.1% (1市町村増)
3. その他	4. 行っていない
<input type="checkbox"/> 16 市町村 29.6% (3市町村増)	<input type="checkbox"/> 26 市町村 48.1% (4市町村減)

その他具体的内容

●地域包括支援センターの物忘れ相談●軽度認知症把握・ケアマネジメント事業の実施●かかりつけの薬局による生活機能低下者早期発見事業●認知症機能評価システム・認知症スクリーニングテスト●ホームページ上に認知症初期スクリーニングセルフチェックシステムを導入●認知症カフェで、認知機能評価機器の導入●アプリでの早期発見システムのデモ開催 等

問22. 貴市町村内の認知症サポート医及びかかりつけ医認知症対応力向上研修修了者について、関係者への周知を行っていますか。

1. HPIに掲載	2. 市町村内の医療機関へ周知
<input type="checkbox"/> 3 市町村 5.6% (増減なし)	<input type="checkbox"/> 2 市町村 3.7% (1市町村増)
3. その他	4. 周知していない
<input type="checkbox"/> 15 市町村 27.8% (3市町村増)	<input type="checkbox"/> 36 市町村 66.7% (2市町村減)

その他具体的内容

●認知症サポーター養成講座時に周知●認知症ケアパスに記載●町の広報誌へサポート医の記事を掲載 等

問23. 認知症サポート医及びかかりつけ医認知症対応力向上研修修了者に対し、認知症関係協議会や地域ケア会議に参加を求めるなどの連携はありますか。(県の認知症地域医療支援事業(認知症サポート医による普及啓発事業)は除く)

1. ある	2. ない
<input type="checkbox"/> 14 市町村 25.9% (1市町村増)	<input type="checkbox"/> 40 市町村 74.1% (1市町村減)

連携内容

●一部認知症サポート医、研修修了医が「地域サポート医」として地域ケア会議等に参加●初期集中支援チームのメンバー、講演会の講師、もの忘れ相談事業に協力●認知症地域支援推進との連携会議、認知症施策総合検討委員会 等

アンケート用紙1 千葉県・令和元年度及び令和2年度当初 市町村における認知症施策に関するアンケート結果

問24(1). 貴市町村では、認知症疾患医療センターとどのような連携をしていますか。

1. 専門医療相談

27 市町村 50.0% (5市町村増)

2. 紹介、受け入れ、入院等

34 市町村 63.0% (10市町村増)

3. 初期集中支援チームへの支援

17 市町村 31.5% (増減なし)

4. 圏域内の情報共有

23 市町村 42.6% (4市町村増)

5. 研修会等の開催

27 市町村 50.0% (2市町村増)

6. その他

4 市町村 7.4% (4市町村減)

7. 特に連携していない

5 市町村 9.3% (2市町村増)

6. その他具体的内容

●在宅医療・介護連携推進会議の委員を委嘱している。●認知症施策検討委員会の委員を委嘱 等

7. 連携していない理由

●センターは市外であり連携は主治医やサポート医を通じて適切な機関につなぐなど実務的に困っていないため 等

問24(2). 貴市町村では、認知症疾患医療センターに何を期待しますか(複数回答可)

1. 専門医療相談

42 市町村 77.8% (5市町村増)

2. 紹介、受け入れ、入院等

43 市町村 79.6% (4市町村増)

3. 初期集中支援チームへの支援

32 市町村 59.3% (6市町村増)

4. 圏域内の情報共有

40 市町村 74.1% (15市町村増)

5. 研修会等の開催

37 市町村 68.5% (9市町村増)

6. その他

1 市町村 1.9% (増減なし)

7. 特に望まない

0 市町村 0.0% (2市町村減)

6. その他具体的内容

●地域の認知症サポート医との連携

7. 特に望まない理由

なし

アンケート用紙1 千葉県・令和元年度及び令和2年度当初 市町村における認知症施策に関するアンケート結果

【若年性認知症の対策について】

問25. 若年性認知症の人と家族への相談や支援の窓口は決まっていますか。

1. 専用窓口が決まっている

11 市町村 20.4% (5市町村増)

2. 専用窓口はないが、相談等があった場合は関係部署と協議して対応している

39 市町村 72.2% (5市町村減)

3. 今後専用窓口を設置する予定

1 市町村 1.9% (1市町村増)

4. 決まっていないし、特に対応もしていない

3 市町村 5.6% (1市町村減)

問26. 若年性認知症について市町村として相談に対応した事例はありますか。(地域包括支援センターの活動も含む)

1. ある

45 市町村 83.3% (4市町村増)

2. ない

9 市町村 16.7% (4市町村減)

問27. 県ホームページに掲載している若年性認知症リーフレット(別添)について、どのように活用していますか。(リーフレットはH24年度県が作成し配付、その後適宜情報をホームページ上で更新中)

1. 県ホームページ掲載データを印刷して配布

25 市町村 46.3% (2市町村減)

2. 県ホームページ掲載データを地域に応じて修正し配布

1 市町村 1.9% (1市町村増)

3. その他の方法で活用

6 市町村 11.1% (増減なし)

4. 特に活用していない

22 市町村 40.7% (増減なし)

その他の活用方法

●窓口に設置、認知症サポーター養成講座で配布 ●相談があった場合に配布している。等

【「認知症施策推進大綱」に掲げる事業の実施について】

問28. 標準的な認知症ケアパス(認知症の症状に応じたケアの流れ等)を作成していますか。

1. 作成済みである

44 市町村 81.5% (5市町村増)

2. 未作成

10 市町村 18.5%

2. とお答えの場合、その理由

●作成中 等

アンケート用紙1 千葉県・令和元年度及び令和2年度当初 市町村における認知症施策に関するアンケート結果

問29(1). 認知症カフェの設置していますか。(複数回答可)

1. 市町村主体で実施

15	市町村 27.8%	60	か所
(1市町村減)		(7カ所減)	
2. 市町村が民間団体へ補助をして実施

19	市町村 35.2%	86	か所
(1市町村減)		(10カ所増)	
3. 民間団体が独自で実施

28	市町村 51.9%	107	か所
(1市町村増)		(9カ所増)	
4. 令和2年度中に実施予定

2	市町村 3.7%	4	か所
(1市町村増)		(1市町村増)	
5. 実施していない

6	市町村 11.1%	(増減なし)	
---	-----------	--------	--

問29(2). 問29(1). で1～3. とお答えの場合、認知症カフェの内容についてお答えください。(複数回答可)

- | | | | |
|-------------------|----|-----|-------|
| 1. 茶菓・食事の提供 | 43 | 市町村 | 79.6% |
| 2. 専門職等による介護相談 | 42 | 市町村 | 77.8% |
| 3. 健康チェックや医師による診断 | 4 | 市町村 | 7.4% |
| 4. 生演奏、カラオケ・歌 | 33 | 市町村 | 61.1% |
| 5. 囲碁将棋、編み物・工作 | 23 | 市町村 | 42.6% |
| 6. 散歩・体操 | 30 | 市町村 | 55.6% |
| 7. 認知症の本人による給仕 | 5 | 市町村 | 9.3% |
| 8. その他 | 22 | 市町村 | 40.7% |

8. その他具体的な内容

●アロマセラピー●認知症サポーター養成講座●認知症専門医やサポート医による講演会●毎月異なるイベントの開催●笑いヨガ●子ども食堂と同時開催による世代間交流●体操、歌やそば打ち●当事者・介護者同士の交流/情報交換 等

問29(3). 問29(1). で1～3. とお答えの場合、認知症カフェを設置・運営する上で、課題はありますか。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. ある | 2. ない |
| 41 | 6 |
| 市町村 75.9% (1市町村増) | 市町村 11.1% (2市町村減) |

具体的内容

●近場で歩いていける距離にカフェを設置できていない●参加者(参加人数が少ない。メンバーが固定化し、新しい参加者が定着しない)●感染症対策のため、これまで使用できていた施設の使用が出来なくなった●開催場所、開設・運営費用など経費の問題●設置数を増やすより、既存団体への周知活動が必要と考えます●認知症カフェの増設が進まない 等

アンケート用紙1 千葉県・令和元年度及び令和2年度当初 市町村における認知症施策に関するアンケート結果

問30. 認知症の当事者(本人)の要望を行政として継続的に聞く機会がありますか。

1. ある

5 市町村 9.3% (7市町村減)

2. ない

49 市町村 90.7% (7市町村増)

具体的内容

●年に4回市認知症研究会を開催しており、委員(認知症の人と家族の会所属)より本人、家族の要望を伺っている。●3年に1度認知症本人へのアンケートを実施●認知症の方の集いの場に定期的に参加し聞き取りしている●認知症カフェ

問31. 貴市町村内に家族会(本人や介護家族による組織)を設置していますか。(近隣市町村との共同設置も含む)

1. 設置あり

12 市町村 22.2% (2市町村減)

2. 設置なし

42 市町村 77.8% (2市町村増)

問32. 継続的、定期的に認知症の人(本人)及び家族交流会が行われていますか。

1. 実施あり

28 市町村 51.9% (増減なし)

2. 実施なし

23 市町村 42.6% (9市町村増)

3. 把握していない

3 市町村 5.6% (9市町村減)

問33. 多職種協働研修を実施していますか。(令和元年度)

1. 市町村又は地域包括主催で実施

18 市町村 33.3% (5市町村減)

2. 市町村又は地域包括以外の関係者主催で実施

8 市町村 14.8% (増減なし)

3. 実施なし

29 市町村 53.7% (5市町村増)

1. 又は2. とお答えの場合の実施プログラム

○独自プログラム

24 市町村 44.4% (2市町村減)

○県プログラム

1 市町村 1.9% (1市町村増)

○ライフサポートモデル(国のプログラム)

0 市町村 0.0% (増減なし)

○その他

1 市町村 1.9% (3市町村減)

エーザイ株式会社と共催で実施

アンケート用紙1 千葉県・令和元年度及び令和2年度当初 市町村における認知症施策に関するアンケート結果

問34. 多職種協働研修の実施予定はありますか。(令和2年度)

- | | |
|---|--|
| <p>1. 市町村又は地域包括主催で実施予定</p> <p><input type="checkbox"/> 17 市町村 31.5% (5市町村減)</p> <p>3. 検討中</p> <p><input type="checkbox"/> 10 市町村 18.5% (2市町村増)</p> <p>1. ~3. とお答えの場合の実施プログラム</p> <p>○独自プログラム</p> <p><input type="checkbox"/> 24 市町村 44.4% (1市町村減)</p> <p>○ライフサポートモデル(国のプログラム)</p> <p><input type="checkbox"/> 0 市町村 0.0% (増減なし)</p> <p>○プログラムは未定</p> <p><input type="checkbox"/> 5 市町村 9.3% (5市町村減)</p> | <p>2. 市町村又は地域包括以外の関係者主催で実施予定</p> <p><input type="checkbox"/> 5 市町村 9.3% (1市町村減)</p> <p>4. 実施予定なし</p> <p><input type="checkbox"/> 23 市町村 42.6% (4市町村増)</p> <p>○県プログラム</p> <p><input type="checkbox"/> 2 市町村 3.7% (2市町村減)</p> <p>○その他</p> <p><input type="checkbox"/> 0 市町村 0.0% (1市町村減)</p> |
|---|--|

【認知症対策全般について】

問35. 貴市町村独自の認知症に関する施策はありますか。

- | | |
|---|---|
| <p>1. ある</p> <p><input type="checkbox"/> 15 市町村 27.8% (1市町村増)</p> | <p>2. ない</p> <p><input type="checkbox"/> 39 市町村 72.2% (1市町村減)</p> |
|---|---|

1. とお答えの場合、具体的に御記入ください。

●・オレンジ声かけ隊及びオレンジ協力員による地域での見守り活動の推進・DASC-21を用いた軽度認知症把握及びケアマネジメント事業 ●認知症に係る医療・介護情報連携ツール「さくらパス」 ●市認知症対策連絡協議会(医療・介護の専門職で構成する任意団体)と連携し課題抽出や対応策の検討・実施を行っている。 ●重度認知症老人介護手当支給事業、認知症にやさしい地域づくりネットワーク ●若年性認知症の集い。 ●認知症予防教室「頭の元気トレーニング」を独自のプログラムで実施。 ●地域での見守り活動の推進(協議体と連携しながら)・見守りシールの支給・見守り宣言を行い、協定を結んだ事業者へのステッカー・のぼり旗の支給 ●認知症見守りサポーターの家 ●物忘れ改善システムのソフトによる認知症疑いの簡易判定 他

問36. 認知症施策の推進に関し、県への要望等がありましたら御記入ください。(任意)

今後も認知症地域支援推進員や認知症カフェの取り組み事例等、メールで情報提供をして頂きたい。

全国キャラバン・メイト協議会に柔軟な対応をしていただくように、県からも働きかけをしていただきたいです。
(グッズ購入の際の制約が多い、市単独でのキャラバン・メイト養成研修の開催ができないなど)

医療従事者、介護従事者等への認知症対応力向上における研修会の実施

まだまだ、地域住民に対しての認知症のイメージ、知識が浸透しておりません。誰もがなるものであり、市町村単位で対策を行うものではないと思います。県全体、全国で対応する必要があります。まずは、市町村の垣根を越えて連携する必要があります。市町村に任せるだけでなく県が全体を取りまとめる立場で保健所単位から連携を深める機会を作っていただきたい。また、ケーブルテレビや千葉テレビに認知症に関するCMや10分程度の番組を放送してもらうなどいいと思います。ふなっしー等の有名キャラクターを起用したり、千葉県住みます芸人を活用するなど。もっと身近に認知症を。

・認知症施策推進大綱で示され「チームオレンジ」について、小規模な町での取組等、具体的な事例について紹介していただき、参考にさせていただきたい。(メンバーの活動内容等含め)